

都市再生整備計画 事後評価シート

甲府市中心市街地地区(第2期)

令和3年3月

山梨県 甲府市

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	山梨県	市町村名	甲府市	地区名	甲府市中心市街地地区			面積	115ha			
交付期間	平成27年～令和元年	事後評価実施時期	令和2年	交付対象事業費	654.5百万円	国費率	0.458					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(まちなか回遊道路整備事業1路線)、高質空間形成施設(まちなか回遊道路整備事業3路線、都市空間道路整備事業3路線)									
		提案事業										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業										
	新たに追加した事業	基幹事業										
		提案事業										
交付期間の変更	当初			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
変更												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値	目標値	数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	歩行者通行量	人	151,626 (効果発現主要地点⑥～⑨の値42,281)	H25	186,564 (効果発現主要地点⑥～⑨の値80,612)	R1	138,741 (効果発現主要地点⑥～⑨の値35,878)	△	あり	指標とした効果発現主要地点のうち、歩行量に直接的な効果が確認できなかった地点は3地点であったが、⑨「きぬや前」、⑭「セブンイレブン前」では、「都市空間道路整備事業」の効果もあり、歩行量の増加がみられた。また、「まちなか回遊道路整備事業」により、甲府駅北口と南口を結ぶ新たな動線が生まれ、甲府城南側エリア整備の一旦を担うことができた。	
	指標2								あり			
									なし	●		
指標3								あり				
									なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値	目標値	数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
	その他の数値指標3											
4)定性的な効果発現状況	甲府城の東側に、空き店舗を活用した魅力的な店舗等の新規出店(2店舗)が促されるとともに、整備された道路(公共空間)を活用したイベントの開催(第2土曜市、子どもマルシェ)とあいまって、中心商店街における新たな魅力と賑わいが形成された。また、平成28年度から開始した市民実感度調査における「中心市街地に賑わいが創出されている」という市民意識について、平成28年度は1.70ポイントであったが、令和元年の調査では1.77ポイントとなり若干改善した。また、意見の中には、魅力のある店の誘致や全ての年代の人が車を問わずに交流・協力して生活できるコンパクトな中心街にして欲しいなどがあった。											
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた							
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	中心市街地まちづくり会議			都市再生整備計画に記載し、実施できた				●			
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	持続的なまちづくり体制の構築	甲府市中心市街地活性化協議会 合同会社まちづくり甲府			都市再生整備計画に記載し、実施できた				●			
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

様式2-2 地区の概要

甲府市中心市街地地区(山梨県甲府市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 回遊性の向上等による、住みやすく、訪れやすい中心市街地の再生 目標1: 快適な歩行空間と人が集う魅力的な商店街の整備によるまちの活力の発揮 目標2: にぎわいの場を結ぶルートの整備とまちの魅力の創出 目標3: アクセスしやすく、多世代が安心して暮らせる都市・生活基盤の創造		歩行者通行量	単位: 人	151,626 (効果発現主要地点 ⑥～⑨の値 42,281)	H25	186,564 (効果発現主要地点 ⑥～⑨の値 80,612)	R1	138,741 (効果発現主要地点 ⑥～⑨の値 35,878)	R1
			単位:						
			単位:						
			単位:						

まちの課題の変化	・中心市街地における環境整備等により、まちなかの回遊性の向上や景観形成は概ね図られた。 ・中心市街地活性化基本計画に基づく事業の進捗により、空き店舗の減少が図られた。 ・人口減少や少子高齢化に対応するため、多世代が安全で安心して健やかに暮らせるまちづくりを進める必要がある。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	・引き続き、甲府城周辺地域活性化実施計画に基づく整備により、都市機能の充実や来街機会の創出に努める。 ・商店街の魅力向上とともに、多様な主体のまちづくり活動の参画を促す取組を継続的に実施・支援していく。 ・定住人口の増加につながらよう、都市機能の維持・誘導、利便性の向上等、魅力あるまちづくりを目指す。